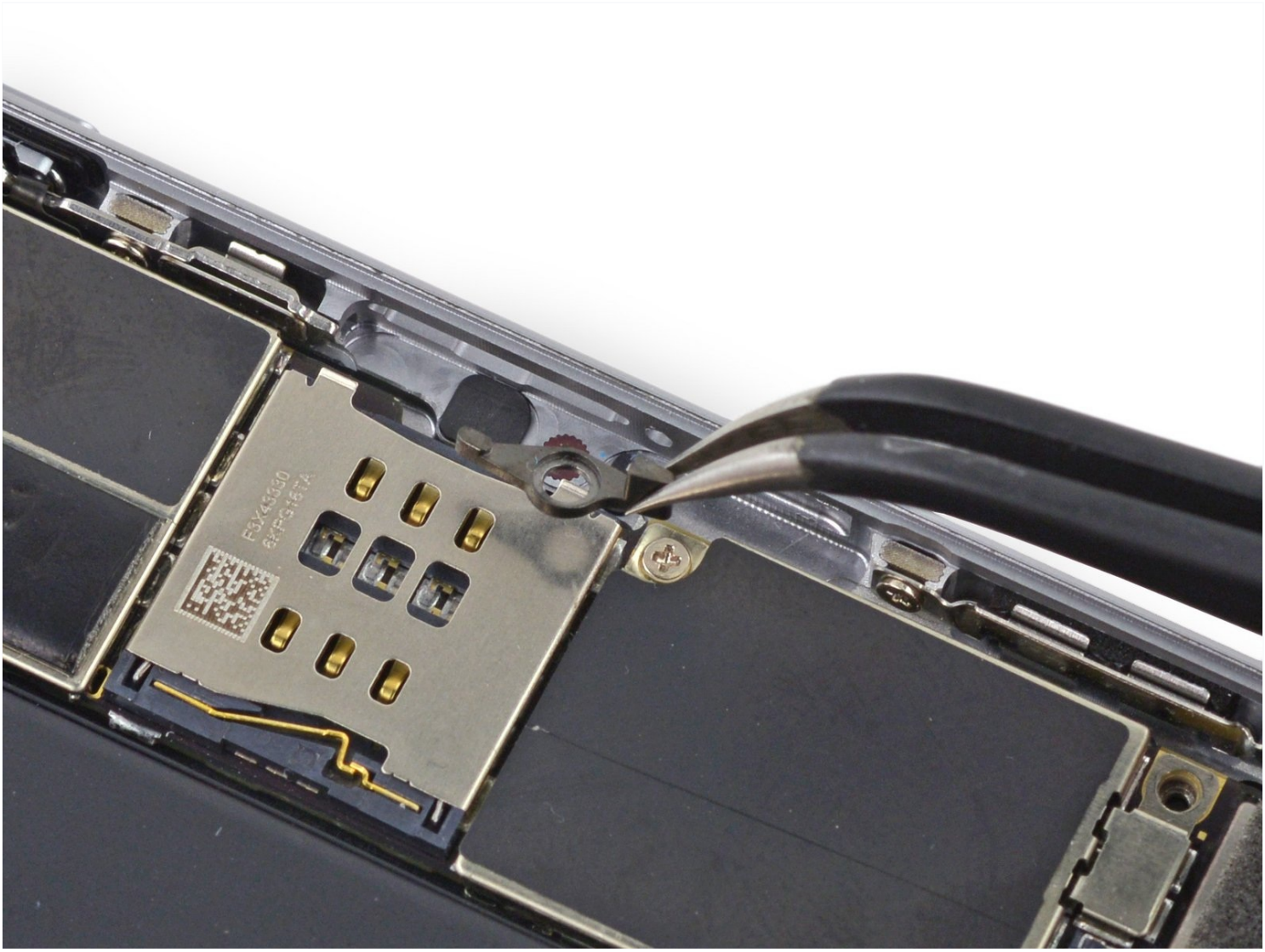
iPhone 6 Plus SIMイジェクトレバーの交換

SIMカードがiPhoneの中に引っ掛かっていませんか？iPhone 6...

作成者: Sam Goldheart



はじめに

SIMカードがiPhoneの中に引っ掛かっていませんか？iPhone 6 の故障したSIMイジェクトレバー交換、または差し直しにはこのガイドを参照してください。

ツール:

P2 ペンタローブドライバー (1)
Anti-Clamp (1)
スパッジャー (1)
#000 プラスドライバー (1)
iFixit開口ツール (1)
SIMカード取り出しツール (1)
ハンドル付き吸盤 (1)
ピンセット (1)

手順 1 — ペンタロープネジ



⚠ 作業を始める前に、バッテリーの残量を25％以下まで消費してください。充電されたリチウムイオンバッテリーにアクシデントで穴を開けてしまうと、引火や爆発の原因となります。

- iPhoneの電源を必ず切ってください。
- Lightningコネクター両側の3.6 mmペンタロープネジ2本を外します。

手順 2 — リバースクランプの使用方法







ⓘ 次の3つの手順では、デバイスの開口作業を簡単にするために開発されたツール、リバースクランプの使い方を紹介します。**リバースクランプを使用しない場合は、この3つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。**

ⓘ リバースクランプの詳細な使用方法については、 こちらのガイドをご覧ください。

- 青いハンドルを後方に引き、リバースクランプのアームのロックを解除します。
- iPhoneの左/右側の端に向けてアームをスライドします。
- 吸盤カップを、ホームボタンすぐ上のiPhoneの下端付近に装着します。上部に一つ、下部に1つずつ取り付けます。
- 両側のカップをしっかりと押し付けて、取り付けたい位置に装着します。

ⓘ 作業中のデバイス表面が滑りやすく、吸盤がうまく装着できない場合は、梱包用テープを表面に貼ると、よりグリップ力を強めることができます。

手順 3







- 青いハンドルを手前に引くと、アームがロックされます。
- ハンドルを時計回りに360度回転させ、カップが両側をストレッチするまで回し続けます。

ⓘ 吸盤カップ両側の位置が合っていることを確認してください。位置がずれてきた場合は、吸盤を少し緩めてアームの位置を合わせてください。

- クランプで十分な隙間が作れたら、スクリーンのプラスチックベゼルの下にオープニングピックを挿入します。

ⓘ クランプで十分な隙間が作れない場合は、さらに接着面に熱を当てて、クランプを1/4程度時計回りに回してください。

⚠ **一回ごとの作業で1/4以上回さないでください。**クランプをまわしたら数秒間待ってください。リバースクランプの効果を待ってから、作業を続けてください。

- **次の3つの手順をスキップして手順7までお進みください。**

手順 4 — フロントパネルアセンブリ



- シングルタイプの吸盤カップを使って、フロントパネルを引き上げます。
  - 吸盤カップをホームボタン上のスクリーンに押し当てます。

ⓘ カップがスクリーンにしっかりと固定しているか確認します。

ⓘ ディスプレイの亀裂の程度がひどい場合、吸盤カップがしっかりと装着するために、透明な梱包テープを表面に貼ってください。もしくは吸盤カップの代わりに、強力テープを使用できます。それでも上手くいかない場合は、壊れたスクリーン上に強力ボンドをつけた吸盤カップを付けて固定してください。

手順 5



- 片手で iPhoneを押さえながら、吸盤カップを引き上げて、ゆっくりとリアケースからフロントパネルアセンブリを離します。

  ⚠ 時間をかけてゆっくりと、同じ強さ加減で作業を進めます。他のデバイスに比べてより強固に接着されています。

- プラスチックの開口ツールを使って隙間に差し込み、リアケースからディスプレイアセンブリを丁寧にこじ開け、吸盤カップで持ち上げます。

ⓘ フロントパネルアセンブリをリアケースに固定させているクリップが幾つかあります。吸盤カップとプラスチック製開口ツールの両方を使いながら、フロントパネルアセンブリを外してくださ。

手順 6

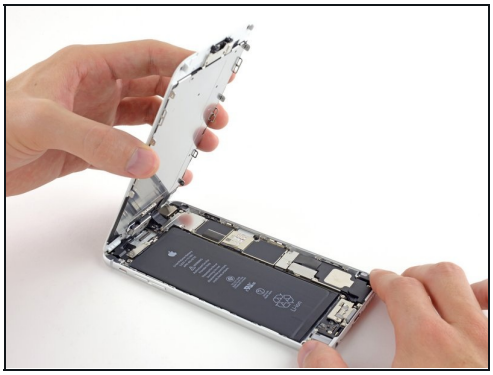


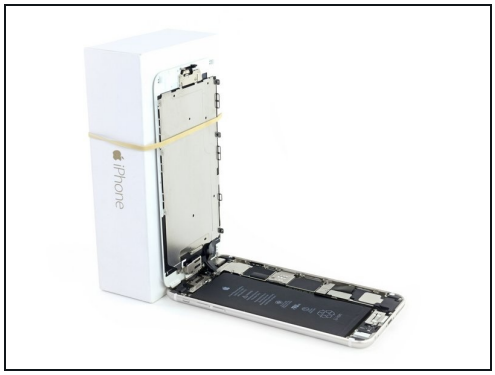


- 吸盤カップ中央のグリップを持ち上げて、吸引力を緩めます。
- 吸盤カップをディスプレイアセンブリから取り外します。

手順 7







- 本体上部先端を蝶番にして、背面ケースからフロントパネルアセンブリのホームボタン端を引き上げます。
- 約90度の角度でディスプレイを開け、後ろに立て掛けて固定できる衝立を置きます。
  - ゴムバンドでディスプレイと衝立を留めて動かないようにします。これはディスプレイケーブルがアクシデントで引き伸ばされるのを防ぐためです。

ⓘ 急ぎの場合は未開封の飲料用缶を使用できます。

手順 8





フロントパネル上部に留められた幾つかのクリップを蝶番のようにして、本をめくるようにフロントパネルアセンブリを開きます。

再組み立ての際は、クリップが背面ケース上部端のちょうど真下になるように配置します。それからフロントパネル上部先端と背面ケース上部先端が重なるまで上方にスライドします。

手順 9



- 次のプラスネジをバッテリーコネクターブラケットから外します。
  - 2.3 mm プラスネジ ー1本
  - 3.1 mm プラスネジー1本

手順 10



- iPhoneからメタル製バッテリーコネクターブラケットを取り出します。

手順 11



- 爪先もしくは開口ツールの先端を使って、基板上のソケットからバッテリーコネクターの接続を外します。

⚠ バッテリーコネクターのみにツールを差し込んで持ち上げてください。基板のソケットに接触しないでください。コネクター全体を破損してしまうことがあります。

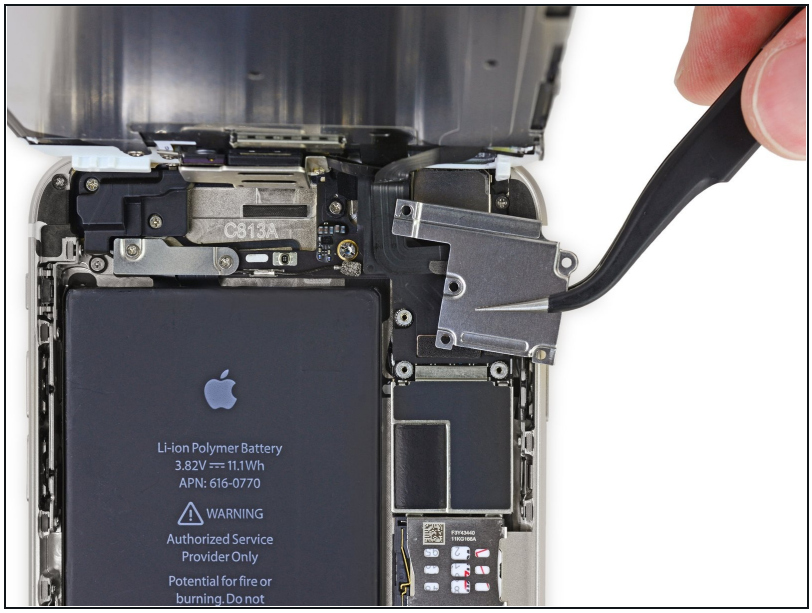
手順 12



- フロントパネルアセンブリーのケーブルブラケットに留められたネジを外します。
  - 1.2 mm ネジー3本
  - 1.5 mm ネジー1本
  - 2.9 mm ネジー1本

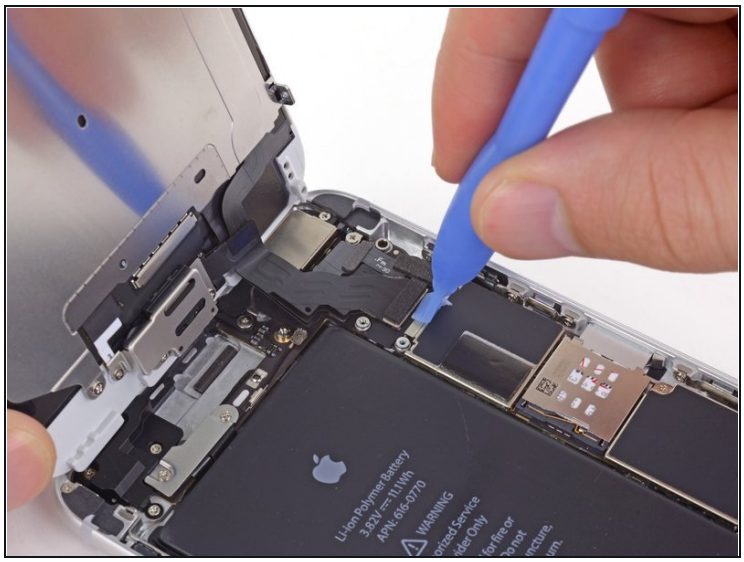
⚠ 絶対に赤い丸印のネジ穴に長いネジを差し込まないでください。基板にダメージを与えてしまいます。

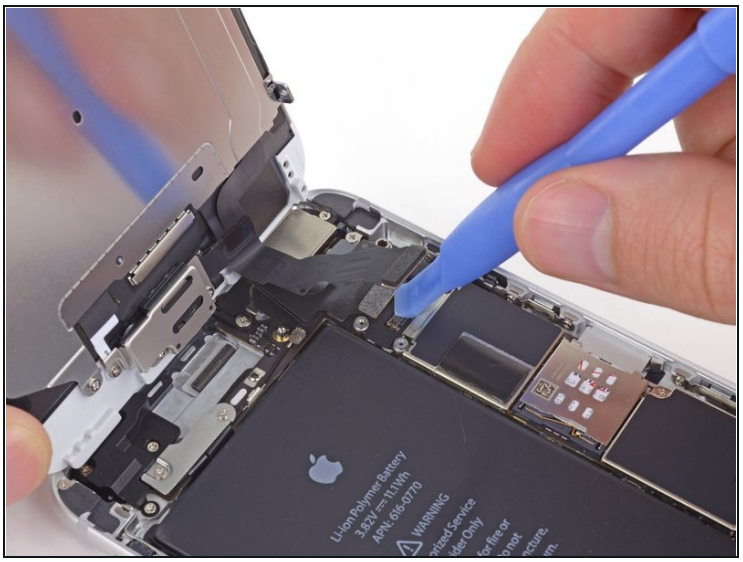
手順 13



- 基板からフロントパネルアセンブリのケーブルブラケットを取り外します。

手順 14

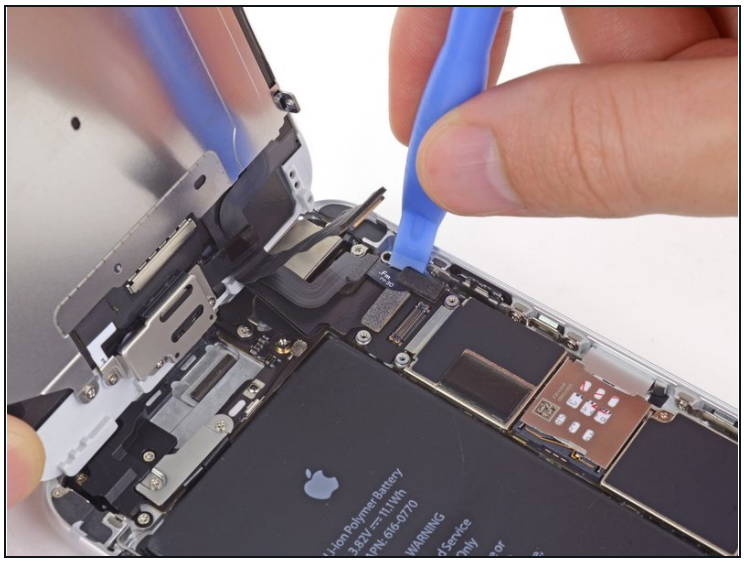




⚠ 次の4つの手順ではケーブルコネクターのみこじ開けます。基板上のケーブルコネクター用ソケットには接触しないでください。

- フロントパネルを固定したまま、爪先もしくは開口ツールの先端を使って、正面カメラとイヤピーススピーカーのコネクタの接続を外します。

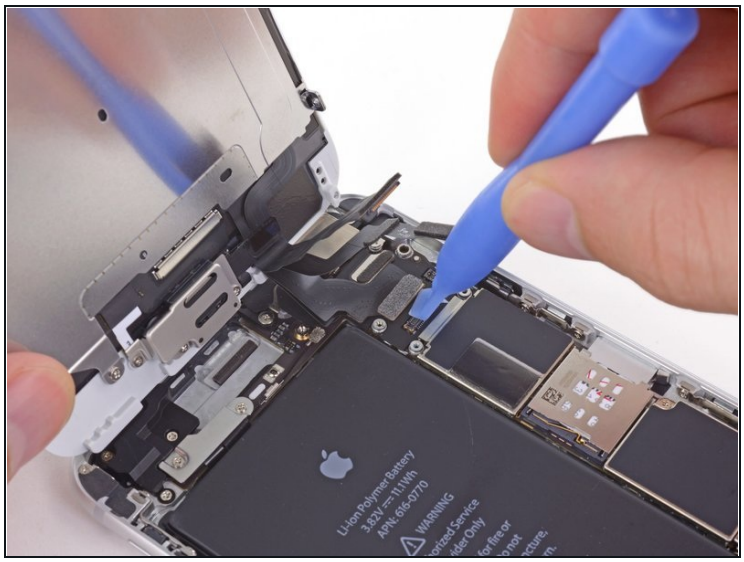
手順 15

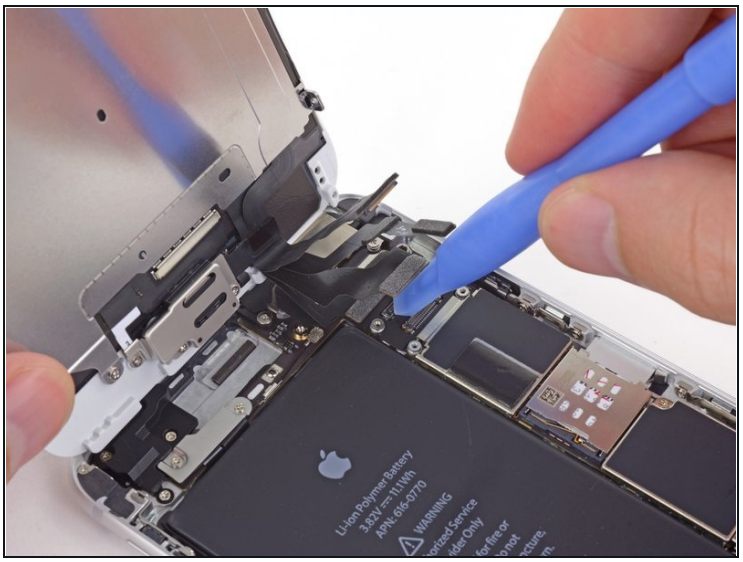




- ホームボタンケーブルコネクターの接続を外します。

手順 16



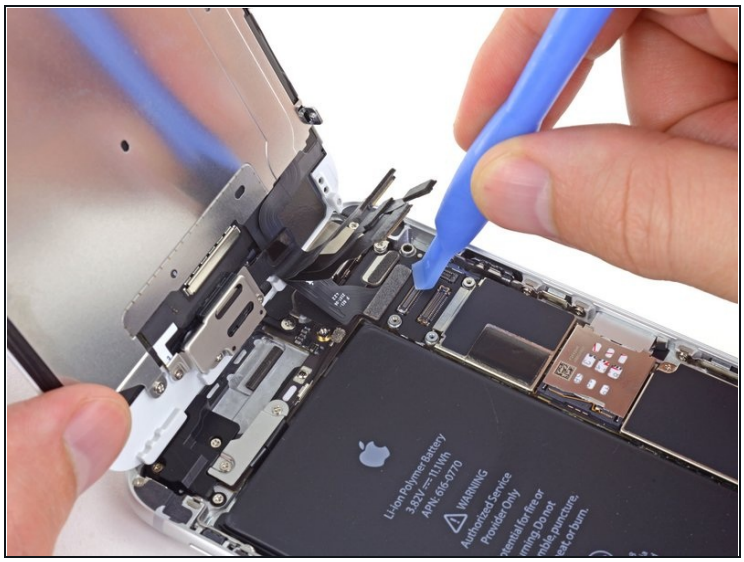


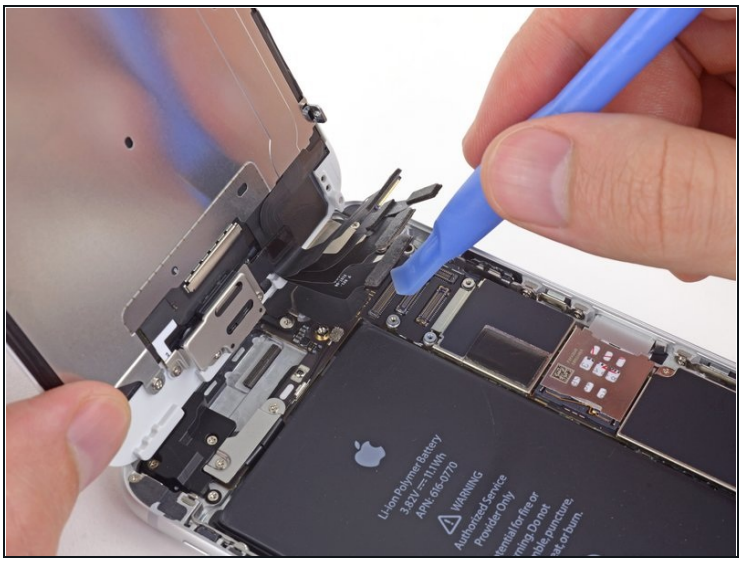
⚠ この手順でケーブルの接続を外したり、再接続する前に、バッテリーの接続が外れているか必ず確認してください。

- プラスチックの開口ツールを使って、ディスプレイデータのケーブルコネクターの接続を外します。

デバイスを再組み立てする際は、本体ディスプレイのデータケーブルがコネクターから飛び出すことがあります。これは電源スイッチを入れた時、黒い画面に白い線が表れる原因となります。この症状が現れた場合は一度ケーブルを再接続して、再起動してください。電話を再起動する一番ベストな方法は、バッテリーコネクターの接続を切ってから再び再接続します。

手順 17

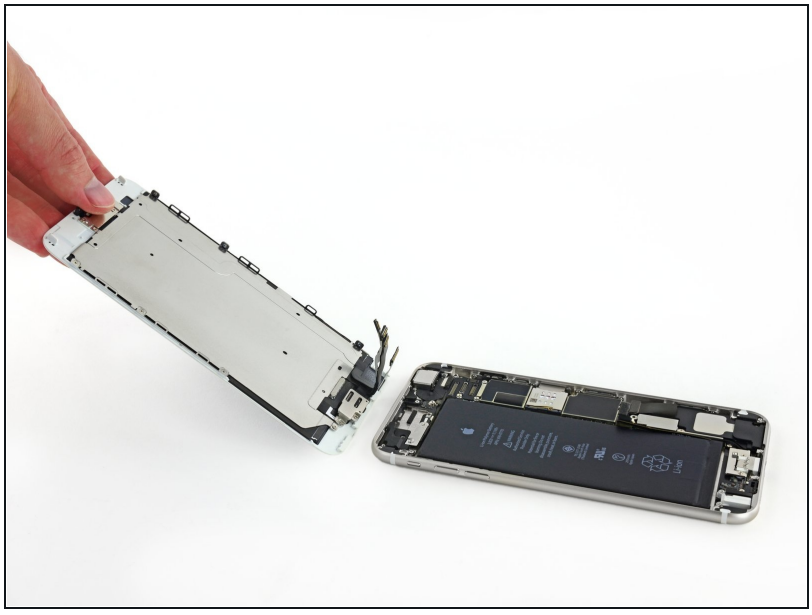




- 最後に、デジタライザーケーブルコネクターの接続を外します。

デジタイザーケーブルを再接続する際は、**コネクターの中央部分を押さないでください。**コネクターの端一方を押してから、もう片方を押し込みます。コネクターの中央を押してしまうと、コンポーネントを曲げてしまい、デジタイザーにダメージを与えてしまうことがあります。

手順 18



- リアケースからフロントパネルアセンブリを取り出します。

手順 19 — SIMカード





- SIMカード取り出しツールや紙クリップをSIMカードトレイの小さな穴に差し込みます。
- 押し込んで、トレイを取り出します。

ⓘ この作業にはかなりの力が必要です。

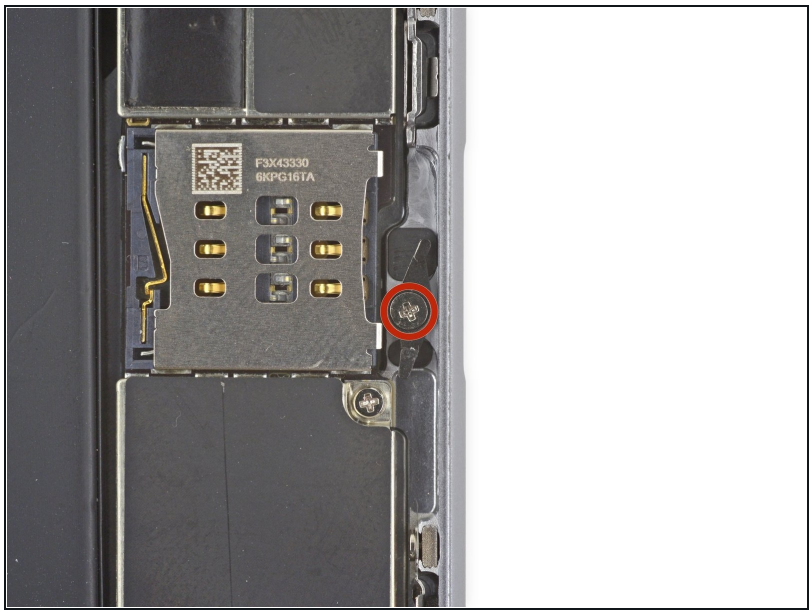
手順 20



- iPhoneからSIMカードトレイアセンブリを取り出します。

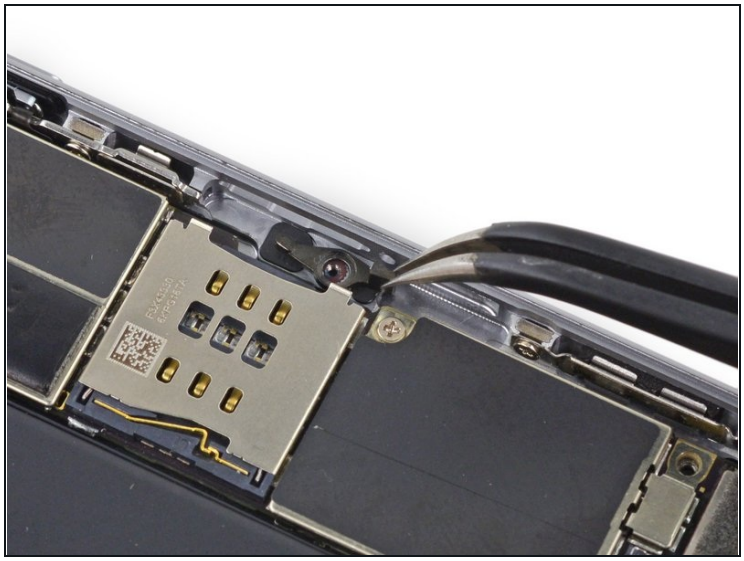
SIMカードを再挿入する際は、トレイが正しい位置より挿入されているか確認ください。

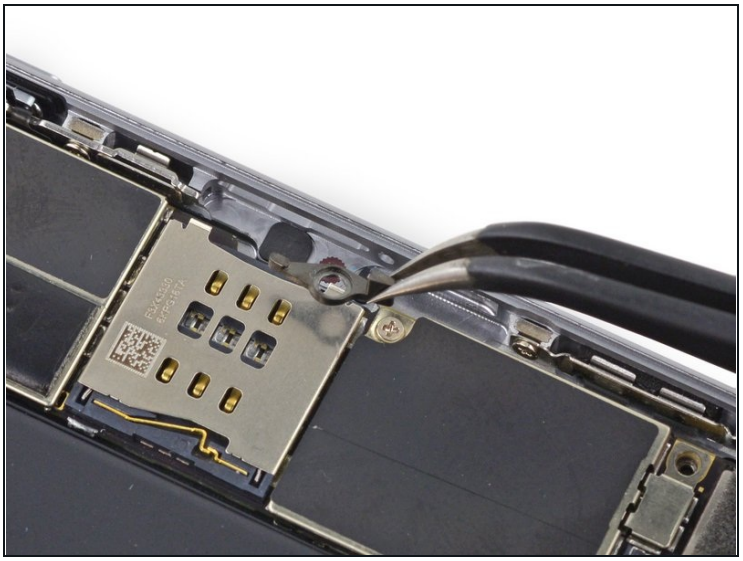
手順 21 — SIMイジェクトレバー



- SIMイジェクトレバーを固定している1.7 mm #00 プラスネジ1つを外します。

手順 22





- iPhoneからSIMイジェクトレバーを外します。

再組立ては方向に注意してください。幅の広い方がSIMイジェクトの穴に合っていなければなりません。

デバイスを再組み立てには、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。